

—ヒロシマ「^{げんぱく}原^ひ爆の日」—

きのう^{はちがつむいか}8月6日は特別な日でした。

いま^{ねんまえ}今から77年前のことですから、みなさんのおじいさんやおばあさんも^う生まれていなかったかもしれない^{むかし}昔のことです。そのころ、^{せかいじゅう}世界中が「戦争」をしていました。^{にほん}日本も、^{ちゅうごく}アメリカや中国、イギリス、オランダ、オーストラリアと行った、みなさんもよく^し知っている^{くにぐに}国々と^{なが}長い^{あいだ}間、^{せんそう}戦争をしていました。

「戦争」ということばは、わかりますか。1・2年生のみなさんには、むづかしいかもしれませんね。^{せんそう}戦争とは、^{くに}国と^{くに}国が、^{てき}敵と^{みかた}味方にわかれて^{てっぽう}鉄砲や^{たいほう}大砲や^{ばくだん}爆弾といった^{ぶき}武器を^{つか}使って^{ひとびと}人々が^{ころ}殺しあう、とても^{おそ}恐ろしい^{たたか}戦いのことです。

この^{おおさか}大阪にも、^{ひこうき}アメリカの飛行機が飛んできて、たくさんの^{ばくだん}爆弾を^お落としました。ほとんどの^{いえ}家が^や焼けて、たくさんの^{ひと}人が^し死にました。^{おおさかじょう}大阪城の^{てんしゅかく}天守閣の^{いしがき}石垣がずれるほどはげしい^{ばくはつ}爆発もあって、^{いま}今でもずれているのを見る^みことができますよ。

このころは、^た食べ物も^{ふそく}不足していて、^{ひとびと}人々は、「^{にほん}日本は^{せんそう}戦争に^ま負けてしまうかもしれないな。」と思うようになっていたそうです。実は、^{じつ}8月15日に^が日本は^{にち}負^{にほん}けを^み認めて^{せんそう}戦争が^お終わりましたので、^が8月6日は、^{せんそう}戦争が^お終わる^{このかまえ}ほんの9日前のことだったのです。（^{たたか}戦いが^{つづ}続いていた^{ばしょ}場所はあるようです）

^が8月6日の朝、^{あさ}アメリカの^{ひこうき}飛行機が^{いっき}一機、^{ひろしまし}広島市の^{そら}空に^と飛んできました。そし

て、8時15分、世界で初めて「原爆（原子爆弾）」を広島市に落としたのです。

原爆は、とても恐ろしい爆弾で、たった一発の爆発で、地面が三千度以上に熱くなり鉄までも溶けてなくなるほどです。爆発の力はすさまじく、台風の千倍以上の強さの熱い風が吹き荒れて家を燃やし、吹き飛ばしました。

今の住之江区の広さの半分くらいは建物が無くなってしまったほどです。そして、その年のうちに、住之江区にくらす人の数よりも多い、14万人が死んでしまいました。

原爆が爆発した空には、火山の爆発の雲のように、大きなキノコの形をした雲が、富士山の4倍ほどの高さまで、もくもくとたちのぼりました。雲の写真を撮ったことがある人もいないのではないですか。

原爆は、どうしてこれほど大きな爆発をしたのでしょうか。ふつうの火薬だけの爆弾ではなく、放射能をもつウランなどの材料を使ってつくられたからです。

そして、原爆が恐ろしいのは、生き残った人々が、爆弾の放射能によってガンや白血病などの病気になってしまうことです。さっき話したキノコの形をした雲からは、「黒い雨」と呼ばれた、ねばねばした、黒い色の雨が降りだしました。その雨には放射能があつて、雨にぬれた人は、ガンや白血病で苦しみました。その後も何十年も苦しんでいる人がいます。

こんな恐ろしい原爆が、3日後の8月9日に、長崎市にも落とされました。

ながさきし ひろしまし おな
長崎市も広島市と同じようにたくさんの人が死にました。

げんばく おそ ばくだん ひとびと お
原爆のような恐ろしい爆弾が、人々がくらすまちに落とされたのは、世界中
で日本の「ヒロシマ」と「ナガサキ」だけです。

ご せかいじゅう ひとびと ひがい き げんばく じんるい
その後、世界中の人々が、ヒロシマやナガサキの被害を聞いて、原爆は人類
を滅ぼす恐ろしい爆弾だということを知りました。

しかし、とてもざんねん げんばく ちから ばくだん
ですが、原爆よりもっと力のある爆弾やミサイル
が、今では世界中にたくさんあるのです。

ウクライナへはロシアが侵攻して戦争をしています。ミサイル攻撃などでた
くさんのウクライナの子どもたちが死傷しています。恐ろしいことです。

ぜひ、げんばく せんそう へいわ かんが
原爆のこと、戦争のこと、平和のことを考えてください。

げんばく はな かんが
(原爆のことを話したり 考えたりするときは、わざとカタカナで「ヒロシマ」
「ナガサキ」と書くことが多いです。)